

とやま労福協

■発行所／(社)富山県労働者福祉事業協会 〒930-0857 富山市奥田新町8番1号 TEL076-431-0539 FAX076-431-0510 ■発行責任者／安東 誠・編集者／青木真佐美

社団法人富山県労働者福祉事業協会 創立50周年記念式典・講演会開催

2009年8月21日(金) ボルファートとやま 4階「琥水の間」において午後3時から社団法人富山県労働者福祉事業協会創立50周年記念式典を開催しました。

主催者を代表し森本富志雄理事長より、「皆様には公私ともにお忙しい中、大変多くご来賓の方々・歴代役員・労働福祉事業団体の方々にご出席いただきました。心から厚く御礼申しあげます。富山県労働者福祉事業協会は、昭和34年8月21日に設立し、翌35年10月に社団法人を取得しました。これまで労働者福祉事業を支えていただいた先達の努力の積み重ねにより、ここに創立50周年を迎えることができましたことに感謝申し上げます。

労働団体はじめ国・県・市・市町村の力添えと、労働金庫・全労済・県生協・勤信協・ボルファートとやま・富山北モータープール・春日温泉観光開発等の事業団体がお互いに協力し合い、中央労福協と連携し福祉活動の活性化に寄与することができました。

しかしながら、勤労者の取り巻く環境は厳しく、特に勤労者の暮らしはますます格差社会が拡大し、生活が脅かされています。環境の変化に対応することによって、勤労者が生き生きと働き安定して生活できる社会を作り上げなくてはなりません。



また、労働団体・事業団体との連携を強化しながら労福協センターの経営の安定を目指しこのボルファートとやま会館を維持していかなければなりません。

富山労福協は50周年を契機に、これまでの労福協活動をさらに発展させ、地域勤労者に根差した活動を展開していきますので、引き続き皆様方のご理解をご支援またご協力をいただきたくお願い申し上げます。と挨拶しました。

続いて来賓の挨拶を受けました。まずは労働者福祉中央協議会会長 笹森清様より、次に富山県知事代理 富山県商工労働部長 柳野隆之様、富山市長代理 富山市商工労働部長 坂井保樹様、労働福祉事業団体代表 北陸労働金庫副理事長 草嶋安治様より創立50周年記念のお祝いとこれからの富山労福協

の役割と期待を込めた祝辞をいただきました。

祝電・メッセージは多くの方より寄せられ安東専務理事より披露しました。

続いて感謝状贈呈・記念品授与が行われ、元理事長、廣田岩雄様・米田実様・鈴木光男様・三辺進様・草嶋安治様へ、また元専務理事川上洋一様・宮本久雄様へ森本理事長より贈呈しました。東 正己様、岡本武勇様、水野 勲様、森美代様は都合により欠席され名前のみ発表しました。表彰者代表として廣田様より感謝の言葉をいただき、創立50周年記念式典は閉式しました。



記念講演会では龍谷大学教授 石川両一先生による「時代の転換と労福協運動の新たな可能性」というテーマで、講演いただきました。

「超少子高齢化社会が日本社会を崩壊し、勤労者の暮らしは深刻な格差社会を引き起こしている。勤労者の所得はますます減少し、それに伴う家庭での負担が深刻化している。労福協運動の新たな役割は社会的発信力を持つ運動体にし、今後ライフサポートセンターの活動は重要で、特にアクティブでパワフルなシニアは活動する受け皿組織にし、ネットワーク型社会運動を仕掛けていかなければならない。」と労福協の活動の重要性について講演されました。

社団法人富山県労働者福祉事業協会 創立50周年記念祝賀会開催

式典・講演会に引き続き、関係団体・中部労福協の皆様、ボルフアート会及び友誼団体・労働福祉事業団体・ライフサポートセンター・高退連の方々を迎え祝賀会を行いました。

まず、会場内のスクリーンには「労福協50年を顧みる会館事業」と題し制作したDVDを流しました。会場では昔懐かしい映像を見ながら会話が弾んでいました。来賓挨拶は中部労福協会長 山田保夫様から祝辞をいただき、中部労福協副会長の才田 巖様より乾杯の発声により祝賀会がスタートしました。

アトラクションとして、「中山孝志・安藤有季子」の津軽三味線は祝賀で盛り上がりました。昔懐かしんで、話は尽きないようでしたが19時10分に閉会しました。



第2回消費者支援福祉講演会に32名参加

第2回消費者支援福祉講演会が6月26日（金）午後4時からボルフアートとやま「翡翠の間」において開催しました。

今回の講師に、滋賀県環境生活協同組合理事長 藤井絢子さんを迎え、「菜の花が地域と地球を再生する」と題し講演いただきました。

“水、緑、土、大気、エネルギー”の5部門にわたるエコロジー商品の開発・普及、合併浄化槽の普及、地域のエコロジーマーケット開催などのソフト開発を中心にリサイクル事業に取り組みながら、地道で確実な活動を展開しています。現在は特に「菜の花プロジェクト」の仕組みを地域に広げる活動を展開している様子をお話いただき、これから環境問題の考え方等多くの質問がなされました。

中央主導による「官僚主導」に代わり、生活の場である「地域」「現場」に足をつけた発想と行動と責任に基づいた「地域イニシアティブによる地域づくり」を私たちも取り組むべきと感じました。



労福協・労働福祉基金へ皆様の気軽な意見をお待ちしています。

こんなサービスしてないの？こんなイベントしてほしい・・・
気軽にお寄せください。待ってます。

富山県労働者福祉事業協会 事務局
TEL 076-431-0539 FAX 076-431-0510
E-Mail rofukuky@ceres.ocn.ne.jp